

家庭のピアノ医学

SEIBU PIANO TIMES. No. 15

良い修理とは?...故障や破損している部分だけでなく
それに付随する部分も確認し、原因を追及、共に修理。

悪い修理とは?...故障や破損している部分のみの修理を行い、その他はそのまま。

部分のみの修理を、なぜ「悪い」と言い切るか? ピアノは1つ1つの部品が
連動します。ですから一部分が具合が悪くなると、全体的なバランスも狂って
きてしまいます。具合が悪くなったまま使い続けると症状は更に悪化していきます。
また修理の際に部品を交換すると、他の部分の重さにも変化がでるので
それらもきちんと調整してやる必要があります。「悪いところを直す」のは確かに
修理ですが、何が原因で悪くなってしまったかをしっかりと見極め根本から完全に
直してこそ修理だと私達は考え、実行しているからなのです。

精度の高い修理と調整のされたアクションは
素人が見ても美しい。
20年後の安心を保証したい

修理内容が
残念です!!



修理の精度レベルが最も露呈
しやすいのがフレージコードの修理。

ハンマーの動きに影響が
大きい部分なので
部分的でなく全鍵を
張り替えます。

その際には「山」
コードの長さ
に注意し、「山」が
全て同じ大きさになる
ように揃えます。また

新しいコードを張ることによって変化する

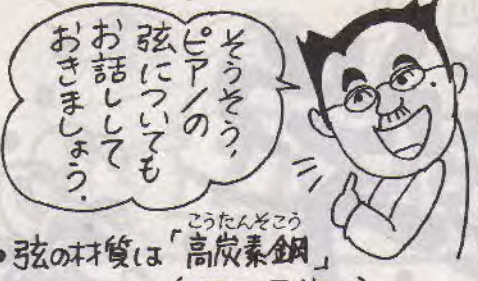
その他の部分の動きなども確実に調整。

「切れたコードを直して欲しい」というご依頼なのでから
張り替えだけすれば、早くお渡しできますし、料金もおさえることが
できるでしょう。「早い・安い」は確かにどの分野でも喜ばれる
サービスですが、「早い・安い・適当」で一時的な安心を保証するより
「じっくり・しっかり・完全に」をモットーに20年経っても安心して
ピアノをお使い頂ける精度の高い修理を行い、どなたがご覧になっても
「まるで新品のように美しい」とおっしゃって頂ける仕上がり、私達は目指し、日々努力しております。



ピアノってとにかく狂うんだからね

だから調律をする、のおはなし

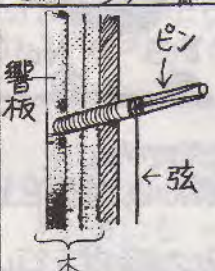
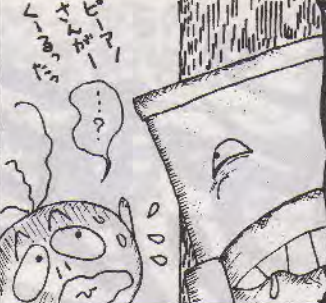


どうどう、ピアノのお話についてもお話しましょう。

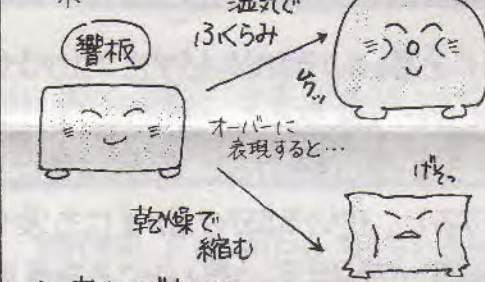
弦の材質は「高炭素鋼」(スチールワイヤー)

新しい内は弾力性があるんだ。張力によって伸びる性質があるんだ。人間の子供でいう成長期と似てるね。そして年月が経つと劣化が進み弾力性がなくなり、突然切れたりする。これも、人間が年をとると骨折しやすくなるのと似ているかもね。

(弦が切れるのは古くなっただけでなく湿度や、ネズミのおシッコなどで錆が付き金属を侵食して起こることもある…)



その条件プラス弦&ピンが取り付けられている響板は全てが木製だから



と、変化が起きる。当然、弦も「運命共同体」その変化に合わせて一緒に伸びたり縮んだりするわけだ。本当にごくわずかな変化だけれどこれが続くと大きな狂いとなるんだ。だから弾かなくても音は下がってくるんだよ。

「弾いていないので調律はいりません」
えっ？マジど？

「たまにしか弾かないし調律はいいですよ」
冗談でしょ？

「弾きまくってるけど音狂ってないし調律はいりません」
ふざけるな!!



まあまあ兄さんおちい?

「買ったばかりの新品だから調律はいりません」
えーっ?!



新しい弦は伸びやすい! ぞやから新しいピアノはすぐに音が狂う!! 新しい内こそ調律に手振きはあかん!!

ぞやから弾いてへんで調律せんともあかんのやっ!!

で、ピアノを弾くとハンマーが弦を打って振動させる。この振動で、ピンと張っていた弦がわずかにゆらぐ。だから弾くとおさら音は下がるため、調律は絶対必要!!

弾かなくてもピアノは自然に音が下がります。常識ですよ!!

そう、出荷前にかかりの回数数のテストプレー(打弦)はされていても新しい環境に落ち着いてからの手入れがその後のピアノの質に大きくかわります。最初にきっちり弦に手をかけないとピアノがいじけた音になりますよ。

「音が下がる」(狂う)といっても素人耳で聴き分けられる程の変化ではありません。こうした程度なら定期的な調律で、簡単にフォローできます。長期向調律など誰の耳にもわかる程、音が狂います。このアフターフォローが大変で洒落になりません。

たとえどんなにきっちりと調律しても直後から音は下がり始める……

ほらほら兄さんまた血圧が……

何故なら弦は11本約90kgもの力で引っ張られているからだよ (90kgは平均値)



新人調律師走る!!

9:30AM 本日最初のお客様宅着。



ボクの超いそがしい一日の始まりです!!

その後、2~3件お伺いする

6:00~7:00PM ようやく帰社!

修理作業・講習



コツコツ
作業です



ミーティング

- 当日の報告 ~ お伺いしたお宅全てのピアノの状況など報告
- 次の日の申し込み ~ 引き継ぎ



勉強会

先輩から修理など技術についてコツ、ツボ etc 伝授

緊張
シマス

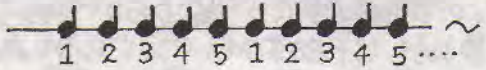


こうして日々、新しい技術力を身に付けて成長していくのである。調律師は一生、24時間勉強の日々!

ピアノのあそび

ピアノを使ってアタマの体操をしてみませんか? 指先が脳を活性化させてくれますよ!

1 好きな音を1つえらんで5本の指で順番に鳴らす。



指番号は左図を参考に、弾きやすい、一定の速さでやってみましょう。まずは右手から...

<グレードアップ①>

- 右手ができたなら左手や両手でチャレンジしてみましょう。

<グレードアップ②>

- 指番号を変えてやってみましょう。5-4-3-2-1, 1-3-5, 2-4など。

2 同じ音を全鍵盤から探して鳴らす。



88鍵の内、★マークにあたる鍵盤はいくつあるでしょう?

Try1と同じやり方で

低い方から順に音を鳴らしてみましょ。スムーズにできるよになつたら高い方から順にやってみましょ。

いかがでしたか?

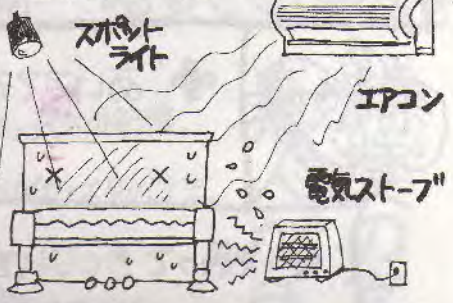
初めての方はあせらず、マイペースで... 弾き方などわからないことは調律師におたずね下さい。

次回は「両手で」... 難しいかも?



血圧と言えは「急激な温度変化が悪影響をおよぼす」と言いますよね。

ピアノの弦もとても温度変化に敏感なんです。



暖房器具や照明の熱でピアノの内部の温度が上がると弦が伸び、さめると縮んで音の狂いが発生してしまうんだ。ピアノのボディが温まっている時は内部も同様の状態なので、すくんに改善してあげよう。調律の時には特に気を付けて。

温度変化以外に湿度の変化にも十分に注意せんと大変なんやぞ!



暖房器具も、タイプが分かれるんだ。

- エアコン... 空気を乾燥させる
- 石油ストーブ... 燃料がもえるが「ストーブ」時に水蒸気が発生する(湿る)

乾燥は音を狂わせ、大切な響板を傷めます。そうすると雑音も発生して厄介です。湿気は本部、フェルトがふくらんで各部の動きを遅くしたり弦に錆を発生させ劣化、音質の低下を招きます。

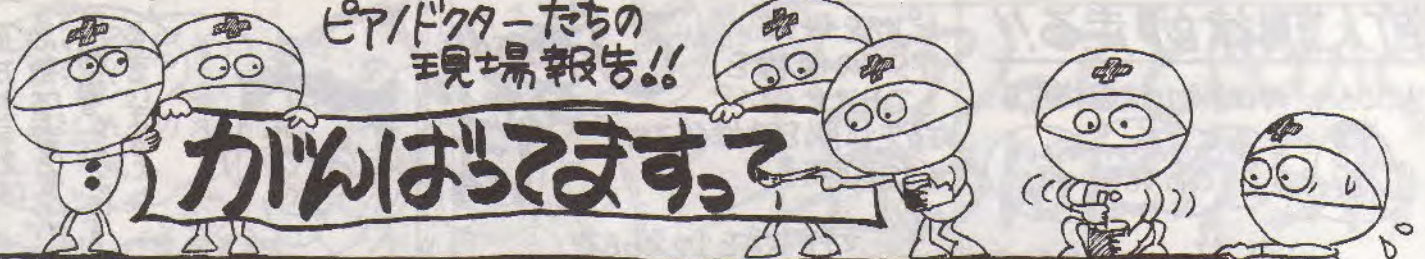


すなわちどんな時もピアノは狂いやすい状態にあるからきちんと調律したり環境をどうのえて管理することを皆さんに願います!

住環境やライフスタイルの変化に合わせて、消音ユニットの需要が増え、合わせてトラブルも発生しています。トラブルの殆どはコストを下げるためピアノの整調もせず取付けだけを行なう手抜き作業によるものです。また、こうしたことを平然と行なう業者は、苦情を言っても誠意ある対応をしないことも問題です。消音ユニットを取付ける時は、普段よりも更に丁寧にピアノを整調し、ベストコンディションにする必要があります。(取付ける機械をスムーズに作動させるために)特に鍵盤下は動きを感知し、音を出させるセンサーを入れるので、音が出なかったり発音のムラを防ぐよう、より念入りな作業が求められます。ユニットが開発されてまだ10年程度ですが、各メーカーは度々のモデルチェンジなど改良を重ね、品質が向上しているため長期の使用による故障程度のトラブル以外は殆どきかれなくなりました。しかし需要が増えると国内、外を問わずコピー商品が出現、これらは取付けて間もなくトラブルを起こす厄介な代物です。消音ユニットの購入、取付けはそれなりの代価がかかりますが、安物に走るのではなく、きちんとした製品を、きちんと取付けることを最優先することが大切です。

消音ユニットが追加されています

ピアノドクターたちの
現場報告!!



カギはあつてます

+ あいの手

調律時、「ド」の音をたたいたら どこからか シャンシャンと音がある。
あちこち調べると… ピアノの下から タンバリンが あらわれた。

+ あいてて

急な上り坂。いつものように キャリーバックを引きながら インヤコラ。
足元の石に気付かず つまずいた瞬間、バックは坂道を まっさかま…
無情にも 一番下まで 落下…

+ 撮って!

丸一日かけて ピアノの修理にお伺い。
ご在宅のおじ様に 大変お喜びいただき
帰り際に ピアノの前で 記念の PV、ポーズ♡



+ 思い、伝えて…

調律中、ドアの向から ちらちらのぞく お嬢さま。
話しかけると すぐに 逃げていってしまった。
言調律後、お母様から「娘が調律のお姉さんに 書いたので
もらってやって下さい。」と渡されたのは「ありがとう」と書いてある
絵手紙でした。結局 直接 お話しできなかったけど
「こちらこそ ありがとう! 本当にうれしかったです!」

+ 神の御手

まさに台風直撃のこの日、夕方から教会のピアノの調律に。
周囲は暗くなり、雨、風が吹きつける中、道に迷っていると 教会の十字架が。
それを頼りに たどりつくと 重い扉が開き、あたたかく お出迎え下さいました。
まさに重荷を負うもの、迷える子羊が 導かれたかのようでした。

今回の参考文献から

● 音のデザイン
楽器とかたち

古今東西様々な
楽器をあらゆる専門家か
解説、文も写真も興味深く、楽しめる一冊。
"人形ピアノ"の写真も見ることができます。

発行人: (株) 西部ピアノ

本社工房・大阪市大正区鶴町3-18-30
TEL06-6554-7201

東京工房・東京都墨田区菊川1-9-13
TEL03-5638-5660

名古屋工房・名古屋守山区小幡南3-3-3
TEL052-758-1301

福岡工房・福岡市城南區別府1-19-40
TEL092-832-6501

徳島工房 他

☎ (0120) 752-777

Meggy Piano

～めずらしいピアノ～

＊ 人形ピアノ ＊

1800年代
詳細不明

この時代には
家具やテーブルと
一体化した
一石二鳥型?の
ピアノがよく
作られた。



支え板

人形のスカート
の一部が引き出しに
なっていて
それを引き出すと
ピアノがあらわれる。
全体的な大きさは
不明だが
鍵盤数が「それほど」
多くはないので
巨大なものではないと
考えられる。
誰が どの様な考えで
作り、
誰が どのように使ったか、
どんな音がしたのだろうか。
ケープの下にすけて見える
胸の大きく開いたドレスに
当時の流行スタイルを
感じる。